

速報！さくらユウワ通信

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。
旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も皆様のご支援に感謝しつつ、より一層の成長と飛躍を目指して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

近年、日本企業の競争力が国際的に低下していると言われています。その要因の一つとして挙げられるのが、人材のリスキリング（再教育）への取り組みが不十分であるということです。急速に変化するビジネス環境に対応するためには、企業が積極的に従業員のスキルアップを図り、新しい技術や知識を積極的に取り入れる必要があります。

リスキリング元年

2025年は「リスキリング（Reskilling）」がこれまで以上に重視される年になるのではないかと予想します。近年、AI（人工知能）やDX（デジタルトランスフォーメーション）の進展が著しく、社会全体の構造が急速に変化しています。技術革新の波は、あらゆる業界に影響を及ぼし、どの企業にとっても、決して避けて通れないものとなっています。

<リスキリングに取り組んでいない>



しかし、帝国データバンクが行った調査によりますと、リスキリングに取り組んでいる企業はわずか8.9%にとどまります。今後「取り組みたいと思

う」と回答した企業（17.2%）と合計しても、「リスキリングに積極的」である企業の割合は26.1%という低調な結果に終わっています。

リスキリングに取り組んでいないと回答した企業のうち、取り組めない理由として最も多かったのは、「対応する時間が確保できない」で実に半数近くに上ります。次が、「対応できる人材がない」（43.5%）と「必要なスキルやノウハウがない」（35.2%）という理由が続きます。

人材開発支援助成金の利用

【人材開発支援助成金の助成率・助成額】

経費助成	賃金助成 (1人1時間当たり)
75% (60%)	960円 (480円)

() 内は中小企業以外の助成率・助成額

厚生労働省はこうした課題に対応するため、「人材開発支援助成金」を準備し、企業が従業員のリスキリングに取り組むことを支援しています。この助成金を活用することで、企業は従業員に必要なスキルを習得させ、成長戦略の実現や事業の高度化を図ることが出来る可能性があります。

弊所でも、社員一人ひとりが自らのスキルを磨き直し、最新のデジタルスキルを身に付けられるよう積極的にリスキリングの機会を提供しています。これにより、お客様が抱える多様な課題に対して迅速かつ的確に対応し、付加価値の高いサービスを提供することが可能になるものと考えています。

2025年が皆様にとって希望に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もさくら優和パートナーズをどうぞよろしくお願い申し上げます。
【熊本本部代表 岡野 訓】